



## 2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月9日

上場会社名 株式会社ジンスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山脇 幹也 (TEL) 03-5275-7001  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日~2019年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	14,928	10.5	1,345	33.8	1,367	52.0	833	66.4
2019年8月期第1四半期	13,506	15.5	1,005	83.6	900	111.3	501	201.0

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 718百万円( 47.0%) 2019年8月期第1四半期 488百万円( 158.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	34.78	—
2019年8月期第1四半期	20.90	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	34,991	21,889	62.6
2019年8月期	36,628	22,370	61.1

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 21,889百万円 2019年8月期 22,370百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,650	11.2	3,000	12.2	2,620	6.2	1,600	10.8	66.72
通期	68,100	10.0	8,300	11.3	7,600	8.3	4,450	15.0	185.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年8月期1Q	23,980,000株	2019年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	3,600株	2019年8月期	3,491株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年8月期1Q	23,976,425株	2019年8月期1Q	23,976,509株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年9月1日～2019年11月30日)における国内経済は、相次ぐ大型台風をはじめとした自然災害の影響及び消費税率引き上げによる消費マインド低下の懸念があったものの、景気は緩やかに回復しました。一方、世界経済に目を向けると、引き続き米国と中国間の通商問題を巡る緊張の懸念及び中国での景気の緩やかな減速が続いている中で、景気回復のテンポは鈍化しております。

また、国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)においては、2019年9月に消費税増税に伴う駆け込み需要の影響で前年同期比プラスとなりましたが、10月以降増税後の反動減があり、今後の動向が注視されます。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げている商品ラインアップの多様化および接客力、店舗オペレーション力の向上などの取り組みを進めてまいりました。また国内アイウェア事業において更なる成長を実現していくために、イノベーティブなプロダクトの開発や店舗オペレーションの効率化に注力しました。商品開発につきましては、「近視のない世界の実現」に向けた取り組みの一環として、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器開発の共同プロジェクトを進めており、当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は66百万円となりました。店舗戦略につきましては、引き続きショッピングモールや郊外ロードサイドへの出店を加速しつつ、新たな顧客体験を提案する次世代型店舗をオープンするなど店舗基盤の強化に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、当第1四半期連結会計期間末におけるアイウェア専門ショップの店舗数は、国内直営店399店舗、海外直営店193店舗(中国153店舗、台湾29店舗、香港6店舗、米国5店舗)の合計592店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は引き続き一式単価の上昇等の効果により既存店売上高が好調だったことから14,928百万円(前年同期比10.5%増)となりました。営業利益は上述の通り研究開発費の支出があったものの、売上高の増加に伴い売上総利益が増加したこと、中国において不採算店舗を閉鎖し売上高対販売管理費率が改善されたこと等により1,345百万円(前年同期比33.8%増)となりました。経常利益は1,367百万円(前年同期比52.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は833百万円(前年同期比66.4%増)となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	構成比	前年同期比
国内アイウェア事業	11,341百万円	76.0%	9.2%
海外アイウェア事業	3,036百万円	20.3%	18.1%
雑貨事業	549百万円	3.7%	0.8%
合計	14,928百万円	100.0%	10.5%

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、店頭展開を強化している「スリム エアフレーム」や「ラバーモダン エアフレーム」をはじめとしたエアフレームシリーズが好評だったほか、消費税増税前の駆け込み需要の影響で客数が増加したことにより、売上は好調に推移しました。また、メガネを掛けたままメガネをバーチャルで試着することができる新サービス「MEGANE on MEGANE」をはじめとした新たな顧客体験を実現した「JINS 渋谷パルコ店」をオープンし、好評を博しております。

店舗展開につきましては、概ね計画通りに進捗し、国内直営店舗数は399店舗（出店21店舗、退店1店舗）となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高11,341百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益1,163百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

#### 〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては、既存店売上高の成長率は回復しており、また不採算店舗を閉鎖したことなどから業績は順調に伸長しております。

台湾においては、国内景気の回復を背景に既存店売上高は順調に伸長しております。

香港においては、政情不安によるデモ騒動の影響により一時的な閉店を余儀なくされている店舗もあり、業績に少なからず影響が出始めております。

米国においては、引き続き既存店売上高の高成長が継続しております。

店舗展開につきましては、中国直営店153店舗（出店11店舗、退店2店舗）、台湾直営店29店舗（出店1店舗、退店なし）、香港直営店6店舗（出店2店舗、退店なし）、米国直営店5店舗（出店、退店なし）の合計193店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高3,036百万円（前年同期比18.1%増）、営業利益228百万円（前年同期比554.0%増）となりました。

#### 〈雑貨事業〉

雑貨事業を取り巻く環境は、引き続き通販サイト及び中古市場の台頭等により厳しさが増しておりますが、市況の変化に対応できるよう店舗オペレーションおよび商品戦略の見直しを行っており、業績は回復基調にあります。

店舗展開につきましては、メンズ雑貨専門ショップ21店舗（出店1店舗、退店なし）、レディース雑貨専門ショップ18店舗（出店、退店なし）となりました。

以上の結果、雑貨事業の業績は、売上高549百万円（前年同期比0.8%増）、営業損失46百万円（前年同期は営業損失66百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2019年8月期末 (2019年8月31日)	当第1四半期連結 会計期間末 (2019年11月30日)	増減	増減率(%)
総資産	36,628	34,991	△1,637	△4.5
負債	14,258	13,102	△1,156	△8.1
純資産	22,370	21,889	△480	△2.1

## (イ) 資産

流動資産は、17,254百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,479百万円減少いたしました。

これは主に、現金及び預金が1,638百万円、受取手形及び売掛金が708百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、17,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ851百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が417百万円、敷金及び保証金が109百万円、のれんが195百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は34,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,637百万円減少いたしました。

## (ロ) 負債

流動負債は、9,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,091百万円減少いたしました。

これは主に、未払法人税等が1,198百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、3,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円減少いたしました。

以上により、負債合計は13,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,156百万円減少いたしました。

## (ハ) 純資産

純資産合計は、21,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ480百万円減少いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益833百万円を計上したものの、配当金の支払いにより1,198百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年10月11日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,479	6,840
受取手形及び売掛金	4,396	3,688
商品及び製品	5,211	5,151
原材料及び貯蔵品	234	232
その他	1,413	1,342
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,734	17,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,876	7,281
その他(純額)	2,017	2,029
有形固定資産合計	8,893	9,310
無形固定資産		
投資その他の資産	2,153	2,364
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,156	4,265
その他	1,665	1,778
投資その他の資産合計	5,821	6,044
固定資産合計	16,868	17,719
繰延資産		
開業費	25	17
繰延資産合計	25	17
資産合計	36,628	34,991

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,370	1,793
短期借入金	1,979	1,744
1年内返済予定の長期借入金	181	115
未払金及び未払費用	3,755	3,803
未払法人税等	1,839	641
その他	1,543	1,480
流動負債合計	10,669	9,578
固定負債		
長期借入金	1,135	1,107
資産除去債務	506	514
その他	1,946	1,901
固定負債合計	3,589	3,524
負債合計	14,258	13,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,179	3,179
利益剰余金	16,133	15,768
自己株式	△1	△2
株主資本合計	22,513	22,147
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△143	△258
その他の包括利益累計額合計	△143	△258
純資産合計	22,370	21,889
負債純資産合計	36,628	34,991



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	13,506	14,928
売上原価	3,125	3,277
売上総利益	10,380	11,650
販売費及び一般管理費	9,374	10,305
営業利益	1,005	1,345
営業外収益		
受取利息	5	1
受取手数料	10	19
受取賃貸料	1	1
為替差益	—	45
還付消費税等	—	76
その他	6	6
営業外収益合計	24	150
営業外費用		
支払利息	31	42
支払手数料	1	1
不動産賃貸費用	62	70
開業費償却	8	8
為替差損	19	—
その他	5	6
営業外費用合計	130	128
経常利益	900	1,367
特別損失		
固定資産除却損	19	65
店舗閉鎖損失	0	6
特別損失合計	19	71
税金等調整前四半期純利益	880	1,296
法人税、住民税及び事業税	269	402
法人税等調整額	109	59
法人税等合計	379	462
四半期純利益	501	833
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	501	833

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	501	833
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12	△115
その他の包括利益合計	△12	△115
四半期包括利益	488	718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488	718
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,389	2,571	545	13,506	0	—	13,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	103	2	—	106	—	△106	—
計	10,492	2,574	545	13,612	0	△106	13,506
セグメント利益又は損 失(△)	1,037	35	△66	1,005	0	—	1,005

(注) 1 「その他」の区分は、全社部門等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II. 当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,341	3,036	549	14,928	—	14,928
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	6	—	128	△128	—
計	11,463	3,043	549	15,056	△128	14,928
セグメント利益又は損 失(△)	1,163	228	△46	1,345	—	1,345

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2019年7月1日付で持株会社体制へ移行したことにより、当社がグループ経営管理事業を担うことになりました。これに伴い、グループ経営管理事業で発生した収益および費用は各報告セグメントに配賦しております。